



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 株式会社システムサポート 上場取引所 東
 コード番号 4396 URL https://www.sts-inc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小清水 良次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 総務部長 (氏名) 森田 直幸 TEL 076-265-5151
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績（2019年7月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	10,013	19.1	693	50.9	656	48.7	403	39.2
2019年6月期第3四半期	8,411	14.6	459	30.7	441	34.3	289	50.1

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 403百万円 (37.6%) 2019年6月期第3四半期 293百万円 (50.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	80.27	77.81
2019年6月期第3四半期	59.62	57.69

(注) 1. 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たりの四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 2019年6月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が2018年8月2日に東京証券取引所マザーズへ上場したため、新規上場日から2019年6月期第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	5,701	2,232	39.1
2019年6月期	5,365	1,977	36.9

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 2,232百万円 2019年6月期 1,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年6月期	—	0.00	—		
2020年6月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2020年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であり、2020年6月期（予想）につきましては、株式分割後の配当予想を記載しております。なお、株式分割前における1株当たりの期末配当予想及び年間配当予想は20円であります。

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,209	12.3	705	33.1	660	31.1	404	17.1	40.30

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 2. 業績予想の修正につきましては、本日（2020年5月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
 3. 当社は、2020年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定です。2020年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
 （注）詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期3Q	5,035,000株	2019年6月期	5,035,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	50,138株	2019年6月期	138株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期3Q	5,026,135株	2019年6月期3Q	4,862,528株

（注）当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2020年5月13日（水）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に、雇用情勢や個人所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いてまいりました。当社グループが属する情報サービス業界におきましては、企業における老朽化したシステムの更改、働き方改革への取り組み等企業における効率化や生産性向上を目的とした投資需要に加え、AIやクラウドサービスの利用領域の多様化等により、市場は拡大傾向となりました。

一方で、米国の保護主義的な通商政策による中国との貿易摩擦による景気後退、中東・東アジア地域における地政学上のリスク等に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への深刻な影響が懸念されることから、先行きは不透明であり、今後の推移を注視する必要があります。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、物流業における基幹システム更新案件や、システムの維持運用の効率化に向けたクラウドシステム導入案件等の各種クラウドサービス利用支援分野において新規及び既存顧客の受注拡大に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は10,013百万円(前年同期比19.1%増)、営業利益は693百万円(同50.9%増)、経常利益は656百万円(同48.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は403百万円(同39.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ335百万円増加し、5,701百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が255百万円、現金及び預金が62百万円増加したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、3,469百万円となりました。これは主に短期借入金が260百万円、賞与引当金が212百万円、買掛金が88百万円増加、「その他」に含まれる未払費用が423百万円、長期借入金が50百万円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ254百万円増加し、2,232百万円となりました。これは主に利益剰余金が391百万円増加、自己株式の取得により136百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の連結業績予想については、2019年8月13日の「2019年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から修正しております。

詳細については、2020年5月13日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますのでご参照下さい。

(新型コロナウイルスの感染拡大による当社グループの事業への影響)

顧客業績等の状況により、投資予算の縮小やプロジェクトの延期などが発生し、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性はあるものの、当社グループは特定顧客への依存割合は低く、かつ、顧客の業種も幅広いため、特段の影響は生じないものと考えております。

一方で、プロダクト事業においては展示会の中止などによる新規顧客獲得の減少が見込まれることから、マーケティング及び営業手法の見直しを図っております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,881,875	1,944,694
受取手形及び売掛金	1,893,293	2,148,926
商品及び製品	48,880	47,570
仕掛品	254,965	204,397
貯蔵品	1,884	4,965
その他	143,252	144,643
貸倒引当金	△405	△444
流動資産合計	4,223,746	4,494,753
固定資産		
有形固定資産	257,143	292,780
無形固定資産	290,944	267,220
投資その他の資産	593,602	646,557
固定資産合計	1,141,690	1,206,557
資産合計	5,365,436	5,701,311

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	369,987	458,124
短期借入金	730,000	990,000
1年内返済予定の長期借入金	134,785	131,246
リース債務	31,170	21,691
未払法人税等	163,704	129,539
賞与引当金	7,625	220,578
受注損失引当金	2,849	14,234
品質保証引当金	14,737	18,066
その他	1,328,981	911,241
流動負債合計	2,783,841	2,894,722
固定負債		
長期借入金	280,428	230,133
リース債務	36,381	40,942
役員退職慰労引当金	171,169	184,320
退職給付に係る負債	111,696	113,690
その他	4,454	5,461
固定負債合計	604,129	574,547
負債合計	3,387,970	3,469,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	717,085	717,085
資本剰余金	521,535	521,535
利益剰余金	736,742	1,128,055
自己株式	△238	△136,988
株主資本合計	1,975,124	2,229,687
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,154	△4,780
退職給付に係る調整累計額	6,495	7,133
その他の包括利益累計額合計	2,341	2,353
純資産合計	1,977,465	2,232,041
負債純資産合計	5,365,436	5,701,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,411,134	10,013,963
売上原価	6,256,638	7,431,327
売上総利益	2,154,496	2,582,635
販売費及び一般管理費	1,694,680	1,888,818
営業利益	459,816	693,817
営業外収益		
受取利息	8	46
受取手数料	838	655
助成金収入	3,864	142
保険解約返戻金	5,880	—
保険配当金	1,360	1,171
その他	752	468
営業外収益合計	12,703	2,484
営業外費用		
支払利息	15,040	14,811
為替差損	4,627	7,872
株式公開費用	11,640	—
上場関連費用	—	17,257
その他	99	323
営業外費用合計	31,407	40,264
経常利益	441,112	656,037
特別利益		
固定資産売却益	—	45
特別利益合計	—	45
特別損失		
固定資産除却損	—	4,465
投資有価証券売却損	—	116
減損損失	—	36,560
特別損失合計	—	41,141
税金等調整前四半期純利益	441,112	614,940
法人税等	151,225	211,497
四半期純利益	289,886	403,443
親会社株主に帰属する四半期純利益	289,886	403,443

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	289,886	403,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△827	—
為替換算調整勘定	25	△625
退職給付に係る調整額	4,105	638
その他の包括利益合計	3,303	12
四半期包括利益	293,190	403,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,190	403,456

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式50,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が136,750千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が136,988千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2020年2月12日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更について決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式を分割することにより、投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家層の拡大と流動性の向上を目的としております。

2. 株式分割の概要

① 分割の方法

2020年5月31日(日曜日)(実質上5月29日(金曜日))を基準日として、同日最終の株主名簿に記載された株主の所有する普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたします。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	5,035,000株
今回の分割により増加する株式数	5,035,000株
株式分割後の発行済株式総数	10,070,000株
株式分割後の発行可能株式総数	20,000,000株

③ 日程

基準日公告日	2020年2月27日(木曜日)
分割基準日	2020年5月31日(日曜日)
効力発生日	2020年6月1日(月曜日)

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり四半期純利益	29円81銭	40円13銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	28円85銭	38円91銭

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が2018年8月2日に東京証券取引所マザーズへ上場したため、新規上場日から前第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

3. 株式分割に伴う定款の一部変更について

① 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2020年6月1日(月曜日)をもって、当社定款第6条の発行可能株式総数を変更いたします。

② 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線部は変更箇所を示しております。)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>10,000,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>20,000,000株</u> とする。

③ 定款変更の日程

効力発生日 2020年6月1日(月曜日)

4. その他

① 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

② 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、新株予約権1株当たりの権利行使価額を、2020年6月1日以降、次のとおり調整いたします。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回新株予約権 2017年6月22日臨時株主総会決議 (2017年6月22日取締役会)	80円	40円

(従業員に対する特定譲渡制限付株式としての自己株式の処分)

当社は、2020年2月12日開催の取締役会において、以下のとおり、特定譲渡制限付株式として自己株式の処分(以下「本自己株式処分」といいます。)を行うことについて決議いたしました。

1. 処分の概要

(1) 払込期日	2020年5月22日
(2) 処分する株式の種類及び株式数	当社普通株式 45,900株
(3) 処分価額	1株につき3,243円
(4) 処分価額の総額	148,853,700円
(5) 割当予定先	当社の従業員 788名 39,400株 当社子会社の従業員 130名 6,500株

2. 処分の目的及び理由

当社は、2020年1月29日に設立40周年を迎えたことから、当社及び当社子会社の従業員に対し感謝の意を表すとともに、継続的な企業価値向上に向け経営への参画意識をより一層高め、株主の皆様との価値共有を進めることを目的として、当社及び当社子会社の従業員918名(以下「対象従業員」といいます。)に対して金銭債権の現物出資と引換えに本自己株式処分として当社の普通株式45,900株(以下「本割当株式」といいます。)を付与することを決議いたしました。これは、対象従業員1名につき、それぞれ当社の0.5単元の株式数である50株を付与するものです。また、中長期的かつ継続的な勤務を促す観点から、本割当株式には譲渡制限を設けることとし、その期間を約3年と設定いたしました。

対象従業員は、支給された金銭債権の全部を現物出資財産として払込み、当社が本自己株式処分により割り当てる普通株式を引き受けることとなります。

なお、本割当株式は、引受けを希望する対象従業員に対してのみ割り当てることとなります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日 至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ソリューション	アウトソーシング	プロダクト	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,878,239	1,132,218	365,806	8,376,264	34,870	8,411,134	—	8,411,134
セグメント間の内部 売上高又は振替高	680	37,834	4,466	42,981	16,659	59,640	△59,640	—
計	6,878,919	1,170,053	370,272	8,419,245	51,529	8,470,775	△59,640	8,411,134
セグメント利益	1,577,337	382,139	200,476	2,159,953	13,999	2,173,953	△19,457	2,154,496

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外情報提供サービス、海外メディア事業、人材紹介事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去の額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,159,953
その他	13,999
合計	2,173,953
調整額	△19,457
四半期連結損益計算書の売上総利益	2,154,496
販売費及び一般管理費	1,694,680
四半期連結損益計算書の営業利益	459,816

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日 至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ソリューション	アウトソーシング	プロダクト	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,309,724	1,250,006	436,194	9,995,926	18,037	10,013,963	—	10,013,963
セグメント間の内部 売上高又は振替高	107	39,679	21,703	61,490	17,028	78,518	△78,518	—
計	8,309,832	1,289,686	457,898	10,057,416	35,065	10,092,482	△78,518	10,013,963
セグメント利益 又は損失(△)	1,956,312	398,836	252,341	2,607,490	△1,162	2,606,328	△23,692	2,582,635

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外情報提供サービス、海外メディア事業、人材紹介事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引の消去の額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,607,490
その他	△1,162
合計	2,606,328
調整額	△23,692
四半期連結損益計算書の売上総利益	2,582,635
販売費及び一般管理費	1,888,818
四半期連結損益計算書の営業利益	693,817

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産において、土地の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては36,560千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。